



碧南ロータリークラブ週報

第3073回例会 令和5年11月15日(水)

- 会長 角谷 信二
- 幹事 杉浦 栄次
- 会場監督(SAA) 岡島 晋一

2023-2024 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 長田一希・牧野勝俊・杉浦秀延



世界に希望を生み出そう

●斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

株式会社 菓匠禄兵衛 代表取締役 居川信彦様

会 長 挨 拶

皆さん、こんにちは。本日もご出席ありがとうございます。また、今日のお弁当は蓋を開けてビックリ、ナイスボリュームで、夜までにお腹が空くのかしらというくらい沢山入っておいしかったです。大正館さん、ありがとうございます。

11日と12日にRI第2760地区の地区大会がございました。出席された方はご存知の通りで、その中のことをちょっとだけお話しさせていただきます。

1日目は会長、幹事、地区の役員方々の会合なのですが、午後から名古屋のマリオットアソシアホテルで開催されました。RI会長代理として、野口英一さんという方が見えて、この方は当然RIの方の役も受けておる訳でございますけれども、第2620地区のガバナーを務められたということで、大変将来が有望で、後々、上の方に行かれるのかなあというふうに感じました。その中で特別講演がございまして、講師が田中作次さんという日本で3人目のRIの会長をやられた方でして、大変お元気で、とても84歳とは思えないようなしっかりした声でお話しされておりました。持ち時間が40分ぐらいございまして、何とその半分が質疑応答ということで、本当にスラッとお話しされて、後は一人一人の質問を受けて即答されるということで、大変頭の回転が速い立派な方でした。RI会長ともなると、それぐらいのレベルなのか



角谷信二会長

なあというふうに感じましたし、「英語はどうされましたか？」という質問がございましたけれども、「勉強すれば何とかなるよ。話ができなくても聞くことはできる。」と仰っておられました。それぐらい余裕で、大変ユニークな方という印象を受けました。

2日目は会員の皆様方と碧南商工会議所に集まって、国際会議場まで行きました。なかなかのセレモニーで感謝状等々がございまして、次年度のエレクトが名古屋南 RC の吉川公章さんに決まりまして、ノミニーは蒲郡 RC の鈴木康仁さんに決まりました。後半には記念講演ということで、徳川宗家 19 代当主の徳川家広さんのお話がありました。まだ 58 歳ということでございますけれども、博士号を持って見えてお喋りが達者で、演題は「三河武士がつくった徳川の平和と繁栄」ということで、うとうとする間もなくお話が終わりました。

次年度も当然開催される訳でございまして、出席される方は記念講演までお聞きになられてお帰りいただくと、何となくロータリーの動きがわかるかなあというふうに思います。本日もお時間までよろしく願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

よろしくお願ひします。

幹 事 報 告

幹事報告を申し上げます。

- ・ 第 5 回理事会と本日行われました臨時理事会の報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ 他クラブの例会変更のお知らせは、幹事報告書の通りでございます。
- ・ 「End Polio Now : 歴史をつくるカウントダウンキャンペーン」の感謝状をいただきました。会長の前にご披露させていただきますので、ご確認をお願いしたいと思います。



杉浦栄次幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

| | |
|--|------------|
| 総会員数 63 名 (内出席免除者 14 名の内出席者 10 名) 出席者 50 名 | |
| 出席対象者 50 / 59 名 | 出席率 84.75% |
| 欠席者 13 名 (病欠者 0 名) | |

<ニコボックス>

角谷 信二君 } 11月12日、地区大会にご参加頂いたメンバーの皆様、たいへんありが
縦山 朋久君 } とうございました。
杉浦 栄次君 }

角谷 信二君 大竹副幹事、大変お世話になりました。

杉浦 栄次君 インフルエンザにかかってしまい、11月8日の例会、11月12日の地

区大会を欠席しました。ご迷惑をおかけした皆様には、申し訳ありませんでした。最新の治療薬のおかげで、無事に復活しました。

竹中 誠君

喜寿祝いをありがとうございました。

杉浦 保子君

地区大会御一行打ち上げの皆さん、ありがとうございました！！

石川 鋼勇君

本日の卓話講師、株式会社菓匠禄兵衛 代表取締役 居川信彦様を紹介させていただきます。

卓 話

「自己進化とアイデア力で新しい世界を切り開く」 株式会社 菓匠禄兵衛 代表取締役 居川信彦様



居川信彦様

小豆屋に俺はなるー！株式会社菓匠禄兵衛の居川でございます。本日はよろしくお願ひ致します。今日の講話のお題は「自己進化とアイデア力で新しい世界を切り開く」ということで、お話しさせていただきたいと思ひます。

簡単に弊社の説明をさせていただきます。創業は1926年でございます、法人化したのが2006年4月4日でございます。代表は私でございます。本社は滋賀県長浜市木之本町という所にあります、今、従業員数が48名で、和菓子の製造販売をやっております。うちの経営理念は、

「菓匠禄兵衛は

お客様に喜んで頂けるために存在すると同時に

仲間が光輝けるステージである

人とひととの出会いに感謝し

仲間と心底向き合い

自らを知り、自らを磨くことで

仲間と共に成長しよう

期待するよりも自ら一歩前に進むことで

笑顔で働きやすく未来の会社を作っていこう」

ということでやっております。この経営理念は3年くらい前に変更したんですけれども、以前は、

「滋賀の素材、伝統、地域性にこだわり

和菓子の新しい可能性を探る

オンリーワンの商品づくり

おもてなしのできるひとづくり

世界中に自慢できるまちづくり

すべての人に和菓子を通して笑顔とサプライズを提供する

We are Smile and Surprise Supplier! 」

という経営理念でございました。前の経営理念は凄く自分の思いばかりで皆に伝わっていないんじゃないかなと思ひまして、従業員をもっと大切にしようという気持ちを込めて作り変えた経営理念でございます。この違いというか、それをこれから説明していく中で感じ取っていただければなというふうに思っております。

私の出身なんですけれども、滋賀県の長浜市の木之本町という所でございます。滋賀県の琵琶湖の北の方にあるんですけれども、その北の方でも木之本町というのは本当にもっと北の方で、福井の敦賀まで30分ぐらいの所に位置します。人口は7,000人ぐらいで、僕が小っちゃい頃は10,000人ぐらいいたんですけれども、どんどん減っていきまして、スーパーも減ってきて、商店街も皆やめてって、どんどん衰退していつているんですけれども、今、地域おこし協力隊の方とかが都会から来られて、色々まちづくりをしているような状況でございます。その中でうちは97年前に創業しまして、私が4代目になります。

私の生い立ちなんですけど、現在48歳なんですけれども、父親が48歳の時の子供です。15歳上の姉がいるんですけれども、48歳で子供ができたらどんな気持ちなんだろうということで、よく親父頑張ったなと本当に思っております。高校まで長浜にいまして、大学は京都の方に行きました。そんな中で自分の住んでいる町が変わっていく姿を見て、同世代たちと「このままではやばいよね。」と喋り合っていました。

私は24歳の時に事業継承をしまして、継いでから24年になります。今でこそ従業員数48名という会社でやっているんですけれども、私が継いだ時は親父とお袋の2人でやっている和菓子屋でした。親父は養子でして、母親の家系がそういう感じだったんですけれども、お盆の時に押し菓子とか砂糖と寒梅粉を混ぜて作るお菓子を作るように言われて作ったんですけれども、そのお菓子が原因で喧嘩になりまして、最後に親父から「そこまで言うんやったら、もうお前がやれ。」と言われてまして、継ぐことになりました。レシピもなかったし、どこから原材料を仕入れているかもわからないしということで、最初は分からないことだらけでした。そこから居川のお菓子が美味しくなくなったという評判が立ちまして、年商が半分ぐらいになってしまいました。このままではうちは潰れてしまうなと思って、まずは自分で親父の作っていた味を思い出しながら、1年に1つずつお菓子を美味しくしていこうということで、試行錯誤しながら毎日やっていきました。それで今は何とか自分の中では良いお菓子が作れるようになりまして、全然発注がなかったお菓子が徐々に売れるようになってきました。「美味しくなくなったけれども、居川さんの所やから頼んであげるよ。」という先代からのお客さんがいらっしゃったおかげで、今は美味しくなったという評価をいただいて、何とか戻すことができました。

さっきも言ったんですけれども、木之本町には同世代の商売をしている仲間がいっぱいまして、商店街の状況を何とかするためにまちづくりイベントをやろうということで、約10万人の観光客が来る8月に開催される地蔵大縁日を1年に1回だけではもったいないなと皆で考えて、毎月縁日をやろうということで、会費を出し合ってやり始めて評判が良かったんですけれども、ある時にコンサルの先生が私たちの疲れ果てた姿を見て「これをやってたらあなたたちが潰れてしまうから、やめたらどうか。」と言われてました。そんな中で私たちが見いだした答えが、単発でイベントをやるよりもしっかりと継続したまちづくりをしていかな

くちやいけないということでした。継続したまちづくりってなんだろうと考えた時にやっぱり自分たちがやっている仕事をしっかりと成功させてもっと大きくして、雇用を生むことが一番のまちづくりになるんちゃうやろうかという意見にまとまりました。そういうふうと言っていった第一人者というかそういう立場だったので、うちを全国で有名な和菓子屋にするということで、外向きに出していこうと考えました。

まずやったことが、うちのお菓子のレベルを知るために色んなお菓子を食べてインターネットで評論している方に食べてもらいました。そうしたら、自分が思っていたよりも凄く良い評価を得られて、こんなに良い評価なら自信を持って売り出していこうということで、電気のふるさとじまん市という幕張メッセで開催されるイベントがありまして、そこに出展してみました。そうしたら、電気のふるさとじまん市が始まって以来の行列ができて、そこで百貨店のバイヤーさんとかともつながって、百貨店の中で色々と催事を頼まれるようになりました。この百貨店の中で出会った方たちとデザイナーさんと出会ったことが自分の中で凄く大きかったです。今、星野リゾートさんのお土産のお菓子も結構作ってるんですけども、星野リゾートさんとの出会いも百貨店で、それぞれの地域の限定バージョンのお菓子を作って、星野リゾートさんの売店の中でも一番売れているお菓子に成長させていただきました。

最後に自分なりのコミュニケーションと自己進化ということで、本当に自分は人に気を遣って生きてきたなと思っています。自分が良い格好して生きてきたことに最近気付いて、自己表現が全然できていなかったなということに今さら気付きました。自分が何か隠れてみたいなことを凄く思っていたんですけども、もっと自分が前に出て良いんだという自己表現、自分を承認できたなという部分があって、それでこういう服を着ようかなと思いました。経営者交流会とか色々な所に行っていると、普通の服を着ているとなかなか目立たないですが、この服を着ていると印象に残るというのが、自分のブランドを上げていく上で凄く良かったなというふうに思っています。前は自分の色んなものを晒すのは嫌だと思っていたんですけども、会社の従業員や就職・採用活動のためにもっと自分のことを知ってほしいなというふうに思うようになって、YouTube と TikTok をやり始めました。もう1年ぐらい経っているんですけども、自己表現していけるということで、自分を知っていただける機会を増やしていきたいなと思っております。自己進化して、もっと皆を楽しませる自分になろうということと、自分のアイデア力で会社をもっと盛り上げて、これからも禄兵衛を皆に知ってもらえるブランドにしていきたいなと思っております。

今日は拙い話でしたけれども、何か皆さんのエッセンスになればというふうに思ってお話しさせていただきました。

ご清聴どうもありがとうございました。

次回例会案内

令和5年12月6日（水）

年次総会「前年度決算報告・本年度中間報告と、次年度理事役員選挙」